

北区のかたちを変えた淀川べり散策

1885(明治18)年の明治大洪水を機に、現在の流れへと大きく姿を変えた淀川。いにしえより栄えてきた歴史も色濃く残り、なんともいえない神秘的なオーラが漂っている。大阪を水害から救った先人たちの軌跡を淀川べりに感じながら散策しよう。

TOYOSAKIHIGASHI / HOJIN / HONJO / TOYOSAKI / NAKATSU 豊崎東・豊仁・本庄・豊崎・中津



メガターミナル梅田の近くとは思えない、細い一本の路地に続くアーケード商店街。界隈にも新しいお店が増え、レトロな商店街で写真撮影を楽しむ若者も多い。

68 中津商店街

細長い路地にある商店街。一時はシャッター通りだったが、長屋をリノベーションした若い人のお店が2016年頃からオープン。昔ながらの駄菓子屋さん、香ばしい匂いが漂うパン屋さん、おしゃれなカフェなどが並び、懐かしくも新しい商店街へ生まれ変わりつつある。

▶中津 3

66 富島神社・十三思昔会碑

創建は足利時代。江戸時代には中津から十三地域の氏社であった。淀川改修工事で沈んだ成小路村字十三の鶯鳴神社を合祀した。境内に十三の昔を偲ぶ「十三思昔会碑」が建っている。すぐそばの蛙の置物は、何度も盗まれたがその度に戻ってきたことから「無事カエル」ご利益があると最近もっぱらのウワサ。

▶中津 2-5-10
参拝自由



この2体以外にも蛙の置物が少しずつ増えている

67 元萩之橋碑

現在は豊中市に移転した東光院の山門前に架けられていた橋の跡。境内の萩が美しく「萩の寺」と呼ばれる。界隈は参拝者の往来で賑わっていた。妙見山へ続く旧能勢街道の起点であり、池田・能勢や丹波の栗、お米、お酒、炭、銅といった物産が大坂に運び込まれた。

▶中津 2-8 中津公園内

64 豊崎神社

日本最初の元号「大化」を定めた孝徳天皇を祀る神社。難波長柄豊崎宮がここにあったとの説も。広々とした境内は地域の人たちにも開かれ、賑やかなマルシェやフリーマーケットが定期的に開催されている。

▶豊崎 6-6-4
参拝自由



樹木に覆われた清々しい空気で満ち足りる

65 森本薰文学碑

昭和の大女優・杉村春子の代表作『女の一生』を書いた劇作家森本薰(1912~46)は中津の生まれ。碑に刻まれた「誰が選んでくれたのでもない 自分で選んで歩き出した道ですもの」は『女の一生』の名台詞。明治・大正・昭和を生き抜いた女の生涯を描き、多くの人々の共感を得た。

▶中津 2-8 中津公園内



樹木に覆われた清々しい空気で満ち足りる

62 摂津之国 国分寺

約1,400年前に天皇勅願所として創建。幾多の戦乱や第二次大戦を乗り越え、月日をかけて再興を重ねてきた地域のパワースポット。境内入口すぐに鐘楼があり、大晦日の夜には除夜の鐘新春法事が行われる。門前の案内板には戦前の写真が紹介され、周囲の賑わいや活気を知ることができる。

▶国分寺 1-6-18 9:00~17:00



樹木に覆われた清々しい空気で満ち足りる

63 神木の桶

明治時代の淀川改修工事で消えるまでこの地を流れている中津川には、神木の桶を目印に川上と川下に渡し船があった。長柄運河もこの桶を避けるように設けられた。特に案内板などはないが、神秘的なオーラを放っている。

▶本庄西 3-5-12
参拝自由



「神様が宿っているかも」と思われる存在感

58 旧毛馬第一閘門・毛馬の殘念石

閘門とは、水位の違う淀川と大川を繋ぎ、船が通れるようにする門のこと。明治期の淀川改良工事の際、川の水量調節を行う洗堰と共に設けられた。現在は使われておらず、産業遺産として保存され自由に見学できる。近くにある淀川改修紀功碑の周囲に置かれた大小の石が「残念石」。江戸時代、大坂城再築城の際に伏見から運ばれて途中で川に落ち大阪城の石垣になれなかった残念な石が、淀川改修工事の際に引き上げられた。

▶長柄東 3-13-1 淀川河川公園内



煉瓦造りに時代を感じさせる旧毛馬第一閘門の遺構

59 眼鏡橋

明治期の淀川改修工事で出た土砂などを運搬するため開削された長柄運河に架けられた橋。アーチ状の見た目から「眼鏡橋」と名付けられ、役割を終えた運河が埋め立てられた後も当時のデザインのままに補修・保存されている。

▶長柄東 3-3 淀川河川公園内

60 鶯塚

赤い鳥居と玉垣で囲まれた大きな木と小さな社。「平安時代、長柄長者の姫君が病で亡くなると、可愛がっていた鶯が姫を偲んで歌を詠み、後を追うように死んだ。長者たちは姫と鶯と一緒に葬り、鶯塚と名付けた」「天皇にゆかりある高貴な人のお墓があった」など由来は諸説ある。

▶長柄東 2-7

61 鶴満寺

奈良時代に大和で創建されたと伝わり、長柄にやってきたのは1753(宝暦3)年。当時は敷地がもっと広く、しだれ桜の名所として幕末の大坂名所を描いた錦絵『浪花百景』や、古典落語『鶴満寺』にも登場する。鶴満という寺社の名前は全国唯一。

▶長柄東 1-3-12
参拝自由



AREA MAP

